

第13回環境保全型農業推進コンクール受賞者(九州管内)

大賞(農林水産大臣賞) 該当なし

優秀賞(全国農業協同組合中央会会長賞)

名称 (所在地)	対象作物	環境保全型 農業実践面積	取組概要
JAさが佐賀みどり支部 ちんげん菜部会 (佐賀県 武雄市)	チンゲンサイ	5.2 ha	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地の不利な条件の地域で、チンゲンサイを43戸の農家がハウス栽培を行なう。 ・九州におけるチンゲンサイ栽培の先駆的存在。 ・平成3年の組織設立以来、①牛糞堆肥・山土利用、②プラグ育苗方式の採用等工夫してきた。 ・年間7～8回の栽培を実施、栽培延べ面積は36ha(実面積5.2ha) ・特筆すべき点 <ul style="list-style-type: none"> ①17年におよぶ環境保全型農業の取り組み ②蓄積してきた多岐にわたる栽培技術、および他産地への環境保全型農業技術の移転 ③耕作放棄地への取り組み強化等 ・食農教育・環境教育・環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ①市内の小中学校への給食への素材提供 ②自然環境と地域環境の保全 ③耕作放棄地の発生抑制 ・構成生産者の変化

優秀賞(全国農業協同組合中央会会長賞)

名称 (所在地)	対象作物	環境保全型 農業実践面積	取組概要
JA玖珠九重ピーマン部会 (大分県 玖珠町)	ピーマン	4 ha	<ul style="list-style-type: none"> ・平成元年から旧玖珠町ピーマン部会として活動開始。平成3年以降ハウス化が進み現在は約7割がハウス化。 ・当初から、地域内の牛糞・稲わら等の有機資源を活用したピーマン栽培のための堆肥作りを行なう。 ・平成16年に部会員全員がエコファーマーを取得、土壌診断に基づく堆肥の投入、施肥量の適正化に努め、有機質肥料主体の元肥で化学肥料の節減に努める。 ・平成17年大分方式灌水施肥装置の導入 <ul style="list-style-type: none"> → 必要時に肥料と灌水を実施＝安定生産へ ・化学合成農薬の節減 <ul style="list-style-type: none"> → 抵抗性品種導入、接木苗の導入、防虫ネットの活用、微生物農薬の利用等促進 ・平成19年5月にe-n-a(いいな)おおいた農産物認証制度の化学農薬・肥料の3割減でハウス、露地とも認証。 ・担い手・新規栽培者の確保 <ul style="list-style-type: none"> 平成19年6名、平成20年4名(予定)

優秀賞(全国環境保全型農業推進会議会長賞)

名称(所在地)	対象作物	環境保全型 農業実践面積	取組概要
農事組合法人 ふなごや (福岡県 筑後市)	米・麦・大豆	17 ha	<ul style="list-style-type: none"> ・平成10年に志・尾島機械利用組合として設立 ①機械の共同利用 ②生産圃場の団地化 ⇒ 生産コスト削減、土地利用型農業の経営確立 ③ブロックローテーションによる作付け ・福岡県減農薬・減化学肥料認証制度の認証、および麦・大豆の福岡県指定採種圃場となる ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ①「県民と育む農の恵みモデル事業」＝環境直接支払いが視野に平成17年から取り組む ②米の販売方法として直売所での販売があるが、事務所に直接来訪して買い求める消費者も増加している。

優秀賞(全国有機農業推進委員会会長賞) 該当なし

奨励賞 該当なし

特別賞 該当なし